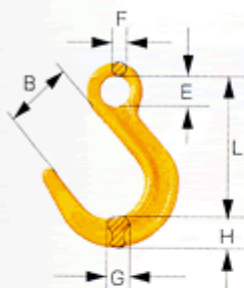


# スリングチェーン

## ■OKEファンドリーフック

スリングフックより開口部が広いので丸棒やローラー軸など、径の太いものをかけるのに便利です。接続金具をご使用の場合はGカップリングまたは、BLカブラーをご利用ください。



名称	使用荷重 (t)	チェーンサイズ (mm)	寸法 (mm)						自重 (kg)
			L	B	E	F	G	H	
OKE-7/8	1.6	7/8	126	63	25	11	18	26	0.64
OKE-10	2.5	10	150	76	32	14	23	30	1.1
OKE-13	4.2	13	182	90	40	18	32	38	2.3
OKE-16	6.4	16	215	102	50	22	40	45	3.8
OKE-18/20	10.0	18-20	247	114	60	26	46	50	6.0
OKE-26	17.0	26	300	113	66	38	64	73	17.0
OKE-28	20.0	28	348	130	72	44	72	85	28.0
OKE-32	25.0	32	384	145	80	48	77	94	35.0

## ■OKスリングフック

開口部の広いスリング用フックで種類も豊富にそろえています。接続金具をご使用の場合はGカップリングまたは、BLカブラーをご使用ください。



名称	使用荷重 (t)	チェーンサイズ (mm)	寸法 (mm)						自重 (kg)
			L	B	E	F	G	H	
OK-6	1.0	6	80	28	20	9	15	19	0.24
OK-7/8	1.6	7/8	98	32	25	11	18	22	0.39
OK-10	2.5	10	122	40	32	14	23	28	0.76
OK-13	4.2	13	152	50	40	18	30	35	1.6
OK-16	6.4	16	184	56	50	22	32	44	3.0
OK-18/20	10.0	18-20	218	66	60	26	42	45	4.9
OK-22	12.0	22	240	90	50	30	48	59	8.0
OK-26	17.0	26	280	95	66	32	58	75	11.0
OK-32	25.0	32	318	105	76	38	65	80	17.0

## ■OKNスリングフック

頑丈な厚さ3mm~5mmのスプリングラッチを使用した開口部の広いスリング用フックです。接続金具をご使用の場合はGカップリングまたは、BLカブラーをご使用ください。



名称	使用荷重 (t)	チェーンサイズ (mm)	寸法 (mm)						自重 (kg)
			L	B	E	F	G	H	
OKN-6	1.0	6	80	24	20	9	15	19	0.30
OKN-7/8	1.6	7/8	98	28	24	11	19	23	0.44
OKN-10	2.5	10	122	34	32	14	24	30	0.84
OKN-13	4.2	13	152	41.5	40	18	28	37	1.7
OKN-16	6.4	16	183	47	50	22	32	44	3.2
OKN-18/20	10.0	18-20	218	53	59	26	42	49	5.1
OKN-22	12.0	22	240	73	50	30	48	60	8.3
OKN-26	17.0	26	280	79	66	32	58	75	11.4
OKN-32	25.0	32	318	84	76	38	65	80	17.5

## ■クルクル (より戻しセット)

UKNバケットフットによる簡易吊り作業時のより戻し機能を持ったフックセットです。

サイズ	参考使用荷重	L寸法
S	1.6t	311mm
M	2.5t	377mm
L	4.2t	466mm
LL	6.4t	561mm

## ■クルッチョー

クルクルの使いやすさが長さ調整機能付のチェーンスリングになりました。

サイズ	参考使用荷重	L寸法
M-A	2.5t	1,000mm
M-B		1,500mm
M-C		2,000mm
L-A	4.2t	1,000mm
L-B		1,500mm
L-C		2,000mm



### ⚠️ バケットフックご使用による吊り作業時の注意点

- 労働安全衛生規則第164条ならびに労働基準局通達(基発第542号)により、十分な安全管理の下に使用してください。
- 最大吊上げ荷重は下記計算で求められます。

バケット平積容量 (m<sup>3</sup>) × 1,800 (kg/m<sup>3</sup>)

注) 計算で最大荷重が1t以上となる油圧ショベルでも、1t未満の使用が義務付けられています。

- 玉掛作業は玉掛技能講習者または特別教育修了者によって行ってください。
- 缶板の引き抜き作業には使用しない方がよい。